

令和4年度 宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校（全日制） 【自己評価表】

《 4段階評価 4：期待以上 3：ほぼ期待通り 2：やや期待を下回る 1：改善を要する 》

A 教育目標		1 知・徳・体の調和のとれた人間の育成を目指す。		2 校訓「正義」「寛容」「実行」を具現化し、21世紀を担う人材の育成を目指す。				
B 重点 目標	C 評価項目	計 画(PPLAN)	実 践(DO)	評価 (CHECK)		改 善 (ACTION)	学校関係者評価委員	
		D重点努力目標（評価指標）	E方策・手立て（数値目標）	学 校 自 己 評 価	綜 合	・ 結 果 の 考 察 ・ 改 善	評 価 （評価できる点、改善して欲しい点）	
生徒一人一人の学力を最大限に伸ばし、進路実現を図る。（知育）	基礎・基本の定着と学力向上	①教師が授業力を磨く。	①・新学習指導要領の「学びの三要素」やいずみGS（5領域15項目）の育成に主眼を置いた授業改善を恒常的に行うことで、授業力向上に努める。「観点別評価」に伴う定期考査のあり方や考査外評価の充実も図る。 ・授業改善の年間テーマを元に授業を展開する。それぞれの実践状況については、授業の相互参観や年に2回の研究授業期間等を活用し、教科科目内はもちろん、教科科目をこえて学校全体で授業改善に臨む体制を作る。	3	総合	①・各教科で作成、配布したシラバスを元に授業やテストを活用したPDCAサイクルの確立を目指す指導を行った。生徒に向けた評価の振り返りや長期的な目標を立てるための材料は用意したが、その実践についてはもう少し生徒への促しが必要であった。 ・各教科で年間2回の研究授業と授業に関する協議を行って頂き、ICT活用など全員で授業改善に向けた取り組みを徹底できた。また、異なる教科の先生方も積極的に研究授業に参加し、授業の工夫改善につながったのではないかと考える。	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・自走化について、学生の自主性は向上したか。 ・皆様、熱心に勉学に取り組んでいると思います。 ・考察にあるように、その実践については、もう少し生徒への促しが必要ではないかと思われる。 ・生徒の能力に応じた、個別的な指導を積極的に取り入れてほしい。 ・先日、令和4年度の大学共通テストの都道府県別順位が発表され、宮崎県は下位のランクでした。都市部の学習環境や生活環境の違いがあるのかもしれませんが、何かが足りないのかもしれないと考えます。その何かがどこなのか？与えられた時間は平等だと思いますので、効率を上げる方法を考えていかなければならないと感じます。 ・ICT(Classi)の活用法に力を入れていく方向はとても良いと思います。 ・学習習慣を確立させるという目標について、結果の考察、改善点を读ませてもらったが、生徒の意識向上のため、工夫されていると思う。
		②学習習慣を確立させる。	②・自宅学習の指導や調査を定期考査後に実施して実態把握に努める。昨年度と同じ時期に調査することで比較し、その後の指導に活かす。 ・学習と生活のしおりの活用、2者面談、3者面談を通して、生活のリズムや学習習慣の状況確認、進路目標達成に向けたアドバイスを行う。その中で学びに向かう姿勢を育ませる。 ・課題や予習など与えられたことに対する学習だけでなく、課題等を全く与えない日を設けて、自ら考えて学習できる時間を確保することで、自走出来る生徒を育てる。 ・高校1、2年次は定期テストの日程・範囲を2週間前には配布し、計画的に学習し、基礎基本（知識・技能）を中心に定着させる。定期テストは、最低限60点から70点の平均点を目指し学習に取り組ませることで、受験時に必要となる学力の土台を作る。			②・前期は例年通りの宅習調査、後期はICT(Classi)を用いた宅習調査を実施した。来年度は、3学年ともに一人一台端末となるため、生徒も教員も学習状況の把握や効果的な学習に向けて積極的に活用していく必要がある。学習と生活のしおりにについても、来年度からはClassiを活用して行く方向である。模擬試験などの結果等も確認できるため、日々の学習状況だけで無く成績状況と比較しながら活用できると考える。 ・本校では、近年学校からの課題を減らし、また希望者による課外も実施日数を減らすことで、生徒自らが考えて学習に臨むことができる時間を確保している。学びに向かう姿勢を高めるという意味でも自走化を今後も更に促す取り組んでいきたい。ただ、入学生全員がしっかりとした学力を付けていくためには、成績層に応じた柔軟な指導についても今後も検討していくことも必要である。 ・高校1、2年生には、テストの日程や範囲・目標記入用紙を2週間前に示すことで経過的な学習を促すことが出来た。将来、本校のほとんどの生徒が受検する大学入学共通テストの土台となる部分であることについて更に生徒に意識させる何らかの啓発材料を用意し、意識させていく必要がある。		
		③探究活動や読書活動を推進する。	③・各学年学科の特性に応じた探究プログラムを計画、実施していくことで、生徒の「いずみGS」の伸長に寄与する。 ・Google Classroomを活用して図書の情報発信に努めるとともに、探究活動に適した図書資料配架を充実させる。			③・プログラムの「深化」を図ることにより、より効率的にGSの獲得ができた。ICTの効果的な活用が今後の課題として挙げられる。 ・探究関連資料も充実させ、Classroomでの情報発信に加え、蔵書検索システム「カーリル」も導入したが、読書量増加は厳しい状況にある。		

	進路指導の充実	<p>①キャリア教育を充実させる。</p> <p>②学力に応じた個別指導、補充指導を充実させる。</p> <p>③学力検討会・判定会を充実させる。</p>	<p>①・3カ年を見通した進路指導計画を立て、実践する。具体的には1学年は職業観・勤労観の育成、2学年は上級学校等への進路希望の早期確立、3学年は進路希望先の研究と高校卒業後のライフプランの確立及び進路希望の実現を行う。</p> <p>②・朝課外・夕課外を減らすことで、生徒に時間を返し、自走できる生徒の育成を行う。また回数を減らしたことにより、演習が不足することがないよう、内容の精選を行い、授業の進め方等も工夫する。</p> <p>・長期休業中のセミナーなどを利用して、弱点補強の講座や難関大を目指す講座などを計画・実施する。</p> <p>③・必要ときに、必要な会議を行い、先生方が負担と感ぜないような時間設定を行う。また模試の成績だけに頼るのではなく、面談等で生徒の個性や適性を把握し、いろいろな観点から生徒を評価できるような会にしていく。</p>	3	<p>①・進路指導計画通りに実践することができた。</p> <p>・特に講演会や職業講座・大学出前講座はライフプランの確立に大きく役だっている。</p> <p>②・朝課外を週5日から原則週3日の実施としたことで生徒に時間を返すことができた。また月曜ほどの学年も朝課外を実施しないこととした。週末部活動の遠征や大会等での疲れを癒やすことや、週の始めを余裕をもってスタートさせることができた。</p> <p>・学習への取り組みを受け身ではなく、自発的に取り組ませる（自走させる）ための方策をClassiの講義動画や学習ドリルを使って実践したが、思うようにはできなかった。</p> <p>③・会議は焦点を絞って行うことで、例年よりも時間を短縮することができた。学力検討会では問題点や課題、今後の指導についての共通理解を図ることができた。</p>	<p>・1年次より、多種多様な職業講座を開催して、大学受験の参考にすべきではないかと考えます。</p> <p>・学習への自発的な取り組みをさらに発展させるべきではないかと思われる。</p>
人権感覚を養い、豊かな心を育む。(德育)	規範意識の向上と生徒指導	<p>①職員の共通理解と共通実践を図る。</p> <p>②挨拶を励行し規律を守る、素直でさわやかな生徒を育てる。</p> <p>③自主性・積極性のある生徒を育てる。</p> <p>④環境美化意識の高揚を図る。</p>	<p>①各校務分掌・各学年との連携</p> <p>・部会、学年会の実施と組織的な情報共有</p> <p>②情操教育の充実</p> <p>・学校行事を通してクラスや学年内の生徒どうし及び教員と生徒の親睦の深化</p> <p>③学校行事・生徒会活動の充実</p> <p>・生徒の意見が反映されるような土壌作り</p> <p>・各種委員会、生徒会、TSJの活性化</p> <p>④清掃の徹底、学習環境の改善、ゴミの分別徹底</p> <p>・部活動分散清掃の実施</p> <p>・校内緑化の推進と維持管理</p>	4	<p>①・各会で出た議題について、双方向の情報共有が出来たが、部に副担任しか所属していない学年もあるのは今後の課題である。</p> <p>②・定期戦や遠足、クラスマッチ、都泉祭などの大きな行事を実施出来たことで、生徒一人ひとりの帰属意識を高めることが出来た。継続したい。</p> <p>③・校内に泉意箱も設置しており、生徒が意見を出しやすい手立ては出来ている。その案内も生徒会の方からするなど、生徒会活動の活性化が見られた。</p> <p>④・個人や部活動によって清掃活動に対する取り組みに差が見られるが、概ね良好である。清掃時間以外の美化意識を向上させたい。</p>	<p>・挨拶がきちんとできております。</p> <p>・①については、今後の課題を早急に解決するべきである。</p>
	道徳・人権教育、食育・健康教育の推進	<p>①道徳教育、人権教育、特別支援教育、教育相談を充実させる。</p> <p>②食育と健康安全教育を推進する。</p>	<p>①いじめ不登校対策委員会の定期開催</p> <p>・生徒の情報交換や職員間の情報交換</p> <p>・教育相談便りの発行とSCとの連携</p> <p>②・食品衛生や感染症対策に関する情報発信と衛生管理の徹底</p> <p>・栄養バランスに配慮した食生活の重要性の発信</p> <p>・交通安全教育や薬物乱用防止教室、防災避難訓練部活動安全点検の実施</p>	3	<p>①・委員会では学年主任よりリアルタイムの情報が得られている。保健室の意見も貴重である。</p> <p>・SCの協力には本当に感謝している。時間数がもう少し増えると有り難いのが現状である。</p> <p>②・「家庭基礎」の学習において、DVDや調理実習体験等を通して、基礎的な知識と実践力が身につくようにしたが、履修学年以外への発信が課題である。</p> <p>・防災避難訓練を3年ぶりに全校生徒対象で実施した。個人で判断できる生徒を育てていきたい。</p> <p>・防災避難訓練を3年ぶりに全校生徒対象で実施した。個人で判断できる生徒を育てていきたい。</p>	<p>3.4</p> <p>・スクールカウンセラーの協力は、許されるならば、時間数を増やし、日常的に受けられる体制を作る努力が必要ではないかと考えます。</p> <p>・基本的な道徳意識の高い学生が多いと思います。ご指導ありがとうございました。</p>
文武連道を推進する。(体育)	文武連道の推進	<p>①「文武連道」の「文」は勉強、「武」は部活動の他、生徒会活動やボランティア活動等も含めて考える。</p> <p>②学校行事へ積極的に参加させる。</p> <p>③生徒会活動を活性化させる。</p> <p>④部活動を充実させる。</p>	<p>①文武両道との違いの確認や周知の発信</p> <p>・職員会議(部顧問会)や部長キャプテン集会の実施</p> <p>・部顧問や教科担任による常時指導</p> <p>②生徒が主体となった学校行事の企画・運営</p> <p>・都泉祭を含む学校行事の主体的実施</p> <p>③学校行事等の復興と自立的な活動への支援</p> <p>・定期的な定例会や委員会において、課題発見・課題解決への話し合いを実施</p> <p>④部活動の意義や目的を理解した自主的な活動実践</p> <p>・安全点検等を含む自発的な活動を支援するための部長キャプテン集会の実施</p>	3	<p>①・4月の部顧問会時にちゃんとした意味や意義の周知が出来なかったと反省している。来年度はポイントを絞って話をし、更なる共通理解を深めたい。</p> <p>②・都泉祭やクラスマッチをはじめ、学校行事の運営については生徒中心で実施している。コロナ禍でも色々な工夫をすることが出来た。</p> <p>③・今年度は、様々な行事の運営を生徒会総務委員に委ねることが出来た。生徒たちも自信を付けたようだ。毎週の定例会も順調である。</p> <p>④・新キャプテンになり定期的な部長キャプテン集会への参加率も高い。新キャプテン第1回目には、今後期待することなどを伝えることが出来た。</p>	<p>3.3</p> <p>・ホームページを見ると、「文」以外の活動も積極的にされており、素晴らしいです。</p> <p>・さらなる充実を期待します。</p> <p>・今年度は部活動も活躍した学生が多く、部顧問の先生方も大変だったと思います。お疲れ様でした。</p>

<p>広報活動を充実させる。</p>	<p>広報活動の充実</p>	<p>①オープンスクールの工夫・改善を図る。</p>	<p>①・現1年生に昨年中学生の際のオープンスクールについてのアンケートを取り、中学3年生がオープンスクールでどのような内容を求めているかを確認し、その内容を中心にオープンスクールを計画実施する。</p> <p>・オープンスクール時に職員からの情報の資料だけでなく、生徒会からの情報など生徒目線の情報を新聞部に依頼し、当日配布する。</p>	<p>3</p>	<p>3</p>	<p>①・現1年生のアンケートから模擬授業や先輩との交流会が参考になったという意見が多かったため、今年度のオープンスクールに取り入れた。交流会は、例年通り生徒が中心になり、中学生への説明をお願いした。模擬授業については、希望した科目の模擬授業に参加してもらい、高校の授業の様子を感じてもらった。本年度は、保護者にも参加して頂き、オンラインによる学校説明を実施させて頂いた。模擬授業を見たいという保護者が多かったため、公開授業期間に各中学校への案内を行い、例年より多くの方に参加頂けた。来年度に向けては、新型コロナウイルスによる影響はほとんど無くなると思われるため、今年度よりも更に多くの生徒に係わってみたいと考える。</p>	<p>3.3</p>	<p>・コロナ禍での創意工夫が見られた。</p> <p>・今後も充実してほしい。</p> <p>・ホームページで修学旅行の様子を見ましたが、雰囲気分かり、とても良いと思いました。</p> <p>・コロナ禍が続く中で、ホームページの充実が学校生活を知る上で、大変参考になりました。ありがとうございました。</p> <p>・学校関係者の意見として、広報の役割がホームページに変わっていき、PTA新聞を発行する必要があるかどうかを考えなければならぬ時期にきているのかなと思いますが、無差別に発信するホームページより、制限された環境で発行できる新聞にしかできない記事を考えてみたいと思います。</p>	
		<p>②ホームページ、広報誌、パンフレット等を充実させる。</p>	<p>②・ホームページについては、生徒や保護者・地域の方に常に新しい情報を掲載したり、校外での生徒の活躍の状況をタイムリーに発信する。</p> <p>・パンフレットやポスターには、在校生や卒業生の写真やアドバイスなどを踏まえて、本校を目指す生徒に有効な情報を提供出来る内容にする。</p>						<p>②・ホームページは、学校行事や生徒の表彰等の学校の様子、コロナに係る対応等、こまめに更新を行い、効果的に情報を発信することができた。</p> <p>・ホームページと合わせて、学校の概要について、中学生だけでなく、一般の方々向けにもPRできる内容のパンフレット、ポスターの作成ができた。</p>
		<p>③積極的に中学校及び小学校を訪問しPR活動を行う。</p>	<p>③・中学校説明会については、全職員に説明会に行ってもらって頂く。本校の目指す方向や現状、アピールポイントなど共通理解が出来るよう、説明内容について研修を行う。職員が同じ方向性を持ち一体となることが更に学校全体の活性化につながると考える。</p>						<p>③・本校職員の中学校説明会のプレゼンについて説明だけでなく、学校通信などを活用して、本校の教育方針等について職員だけでなく、在校生や保護者にも共通理解を持って頂けるようにした。来年度は、生徒会に中学生への案内パンフレットを作成してもらうなど、生徒目線のアピール活動も導入したい。</p>